

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
12	山下いづみ（19）	<p>1. アール・ブリュット～障害者の芸術文化を広めることについて～</p> <p>今年2月初旬、東京2020大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルのオープニングイベントが滋賀県大津市で開催され、約5200人の来場があった。</p> <p>障害者の舞台芸術や近年国内外で高い評価を受けているアール・ブリュット展、国内外の専門家を招いたワールドフォーラムが催された。フランスのジャン＝マルク・エロー元首相や青柳正規前文化庁長官らが登壇し、アール・ブリュット（※）の社会的意義等を議論した。今後は、全国の50万人と厚生労働省と連携して全国7カ所で開催される。</p> <p>2013年2月にアール・ブリュットネットワークが発足され（事務局：滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課）、アール・ブリュット関連の情報を広く伝えること、アール・ブリュットに関わる人たちが情報を交換し、交流し合える場をつくることを目的に活動しており、全国47都道府県から700を超える団体・個人が会員となっている。</p> <p>また、2年前は22都道府県であった障害者芸術文化活動支援センターは、2019年度には、全国32都道府県、36団体と拡大し、2018年9月より静岡県では障害者文化芸術活動支援センターみら一とが担っている。相談内容には発表の機会が欲しい、アート活動の場を紹介してほしい、作品の販売をしたいなどが寄せられている。</p> <p>障害者が芸術文化を通して、多様な活動を行うことができ、自立と社会参画が促進されていくこと。また、今回のワールドフォーラムでは、アール・ブリュットを通して、人々の異なる発想を知ることができること、多様性を広げることができることなどが語られた。これらのことを踏まえて、以下質問する。</p> <p>(1) 2年前（平成30年2月定例会）の一般質問にて、本市でアール・ブリュット展と地域の障害者芸術作品展を開催してはどうかという問いに、アール・ブリュット展と地元の障害のある人の作品展を同時期に開催することを含めて、今後、研究していくという回答があったが、この2年間にどのような研究、取組をしてきたのか。</p> <p>(2) アール・ブリュットを広める取組について</p> <p>① 本市もアール・ブリュットネットワークに参加し、積極的に会員向けフォーラムの参加や情報交換をしてはどうか。また、アール・ブリュットをテーマにした講演会等を開催してはどうか。</p> <p>② 静岡県障害者文化芸術振興事業「まちじゅうアート」に参加し、障害者アートを市役所や公共施設、病院などに設置してはどうか。</p> <p>③ 市役所2階南側のインフォメーションコーナー横に</p>	市長及び教育長担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
12	山下いづみ（19）	<p>アール・ブリュット関連のお知らせラックを設けてはどうか。</p> <p>(3) 富士市の小中学校、高校ではどのような文化芸術体験を取り入れているのか。アール・ブリュット作品や、バリアフリー演劇などを鑑賞できる機会をつくってはどうか。</p> <p>※アール・ブリュットとは、「加工されていない芸術」という意味のフランス語が語源。「生のまま、自然のまま」という意味であることから、「生（き）の芸術」とも訳される。専門的な美術教育を受けていない人が、湧き上がる衝動に従って自分のために制作するアートを意味する美術用語。</p> <p>2. 青少年のネットリスクの対応と情報モラル教育について</p> <p>近年、青少年のネットリスクが問題となっている。2019年の18歳未満の子供たちのSNSを通じて犯罪被害に遭った数は2000人超で2017年の1813人を上回った。そのほか、トラブルとして、悪口、不適切情報の発信、長時間利用などが挙げられる。</p> <p>今日の情報化社会で本市においても、全ての児童生徒へのタブレット端末の配備を予定している。青少年がこれから必要となることは、自分自身でネットリスクを回避することと、情報活用能力を身につけることだと考える。</p> <p>自治体それぞれに取組があると推察するが、宮城県教育委員会と仙台市教育委員会は、LINEと共同でみやぎ情報活用ノートを作成した。情報や情報技術を適切に活用し、問題を発見、解決をすることや自分の考えを形成する力と情報モラル・セキュリティへの理解、また、責任を持って適切に情報を取り扱おうとする態度の育成も求めている。そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 青少年のネットリスクに対してどのような取組をしているのか。</p> <p>(2) 静岡大学とLINEの共同研究「『楽しいコミュニケーション』を考えよう！」シリーズを活用することも一案だと考えるがどうか。</p> <p>(3) 富士市版、情報活用ノートを作成してはどうか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長